

ゆりぐみ 6月

1組

先月末に、部屋に置いてあった「ヤツデの葉っぱ」。子ども達はすぐに、「まゆとかっぱ」の絵本に出てくるヤツデと見比べ、「かっぱの忘れ物だ！」と気づき、その後は園庭やホールで相撲をして遊ぶ時に、かっぱとまゆが相撲をした時のように、軍配として使い楽しんでいましたよ。また、ラキユーで作ったかっぱの頭の上のさを身に付け、かっぱになりきって遊んでいる様子もあり、「デッカマルみたいに大きくなりたい」と嬉しそうなお子とも達です。ホットケーキ屋さんも「やぶいちごレストラン」へ変わり、「いっぱい食べたら、まゆみたいに力持ちになれるかもしれませんよ」とお客さんに接客する様子の可愛い子ども達。メニューを決めたり、必要な物を出し合ったり、子ども達が思いを言葉にする中で、自分の思いを言葉にすること、友達の思いを聞くこと、たくさん経験していった欲しいと思います。

園庭では、砂場に大きな穴を掘って水を入れ、「かっぱの沼」を作って楽しんでます。砂に水がどんどん染み込んでいくので、何度もバケツで水を運ぶことが必要となっていますが、みんなで協力し水を運ぶことも楽しいようです。これからの水遊びも楽しみですね。



もうすぐ「七夕」と「あかね夏祭り」！

部屋では七夕飾りの制作を楽しんでいます。昨年も作っていた三角繋ぎの他にも今年は貝繋ぎや提灯、短冊は画用紙上の絵の具をストローで吹き、吹き絵に挑戦です！貝繋ぎでは、紙を切り離してしまうのではなく、「途中までを切る」ということが難しいかと思いましたが、次々に作っていく様子にハサミを扱うことがスムーズになってきたことを感じます。さくら組さんから「手伝って」と言ってもらった夏祭りの提灯作りにも取り組み、当日を楽しみにしています。制作では、子ども達の「こうしたい」という思いを形にできるよう、準備していきたいと思います。



6月上旬の保育参観では、子ども達は廊下の方を気にしながらも、いつもの遊びを楽しんでいたのではないのでしょうか。お忙しい中、保育参観にご参加くださり、ありがとうございました。



《ゆり組》
部屋では、絵本「ねこぴつつあ」のピザ屋さんが開店して「いらつしやいませ」「どれにしますか？」と子どもたち同士でやり取りを楽しんでいます。窯にピザを焼くことが面白いようで交代しながらピザを焼いています。中でも人気があるのがいちごホイップのピザといちごジュースです。いちごジュースと牛乳は、ラキユーで中身を丸い形にして2個ずつ入れるなど子どもたちが考えながら作ったり、コップも持ち手つきの方が飲みやすいと工夫していました。遊びの中で想像する力や子どもたち同士の言葉のやり取りを通して絵本の世界を楽しむ経験を重ねながらこれから遊んでいきたいです。

